



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	30,814.26	-177.26	-0.57	-0.91	0.68	30,606.48
NASDAQ	12,998.50	-114.14	-0.87	-1.54	0.86	12,888.28
日経225	28,519.18	-179.08	-0.62	1.35	3.92	27,444.17
上海総合	3,566.38	0.47	0.01	-0.10	2.69	3,473.07
滬深300 (GSI300)	5,458.08	-12.38	-0.23	-0.68	4.74	5,211.29
ハンセン	28,573.86	77.00	0.27	2.50	4.93	27,231.13
中国企業	11,320.53	21.36	0.19	3.33	5.42	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.5%高と3週続伸、上海総合指数は0.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.5%高と3週続伸した。世界的な低金利環境の継続や中国の経済回復見通しなどを受けた株式市場の先高観が買いを支えた。12日に終値で節目の28000ポイントを回復するなど、連日で約1年ぶり高値を更新。週後半は米当局がアリババ集団、テンセントなどを投資禁止の制裁リストに追加することを見送ると報じられ、ネット関連株が買われた。本土市場では上海総合指数が週間で0.1%安と小幅ながら5週ぶりに反落。3600ポイントに乗せた後は利益確定売りに押される展開となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、利益確定売りで短期調整

香港市場は世界的な低金利環境の長期化や中国経済の回復期待を背景に先高観は根強いものの、足元の上昇を受けてハンセン指数は1年ぶり高値圏にあり、利益確定売りで短期調整が予想される。20日の米大統領就任式では暴動などが警戒されているが、バイデン政権は当面国内問題を優先させるとみられており、対中制裁強化の動きは小休止が見込まれる。本土市場も上値の重い展開か。上海総合指数は節目の3600ポイント付近が上値抵抗線となっており、この水準では利益確定売りに押される展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 CNOOC(00883)	8.09	13.62
2 ファイ・コム(00762)	5.01	13.61
3 ファイ・モバイル(00941)	47.10	13.49
4 テンセント(00700)	645.00	12.57
5 中国海外発展(00688)	17.04	9.09
6 薬明生物技術(02269)	103.00	8.42
7 中国平安保険(02318)	103.10	7.85
8 アリババ集団(09988)	241.00	7.49
9 ベトロファイ(00857)	2.58	7.05
10 シノペック(00386)	3.98	5.85

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 創科実業(00669)	109.70	-8.66
2 小米集団(01810)	29.30	-8.29
3 バドワイザーAPAC(01876)	24.40	-7.40
4 サンス・ファイ(01928)	30.65	-7.12
5 銀河娛樂(00027)	57.65	-7.02
6 中国蒙牛乳業(02319)	47.80	-6.82
7 中国生物製薬(01177)	7.06	-6.74
8 吉利汽車(00175)	31.20	-6.17
9 瑞声科技(02018)	43.55	-5.02
10 万洲国際(00288)	6.55	-4.24

▼今週の期待材料

- ◆20日に米バイデン政権が発足、当面は国内問題優先で新たな対中制裁の動きは小休止か
- ◆18日発表の中国の10-12月GDP成長率は6.5%、通期では主要国で唯一プラス成長を確保
- ◆世界的な低金利環境が継続、香港市場の売買代金は連日で2000億HKドル超えの大商い

▼今週の懸念材料

- ◆中国で8カ月ぶりに新型コロナで死者、河北省での感染拡大で旧正月を前に危機感高まる
- ◆ファイザーの新型コロナワクチン接種後の死亡相次ぐ、ノルウェーで接種後に高齢者29人が死亡
- ◆米国で20日にバイデン政権が発足、20日の就任式を前に全米各地で暴動に警戒

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国太平保険 (00966) : 子会社3社の20年保険料収入が4%増加、12月も4%増
- ☆ Qテクノロジー (01478) : 20年12月本決算は粗利益率上昇で40-60%増益の見通し
- ☆ 中国中煤能源 (01898) : 20年12月の石炭販売量が7%増加、20年通年では15%増
- ☆ 中国動向 (03818) : Kappaブランドの20年10-12月期売上高が10%台前半の増加
- ◇ シノペック (00386) : 20年の油ガス生産量が横ばい、原油処理量は5%減
- ◇ ジョルダノ (00709) : 20年12月本決算は赤字転落の見通し、下期は黒字の公算
- ★ 金蝶国際ソフト (00268) : 20年12月本決算は開発費増加などで赤字転落の見通し
- ★ 中国東方航空 (00670) : 20年12月の旅客数が33%減少、貨物輸送量は15%減
- ★ 中国南方航空 (01055) : 20年12月の旅客数が18%減少、貨物輸送量は4%減
- ★ 小米集団 (01810) : 米国防務省が米国人による投資禁止リストに追加指定

▼今週の主なイベント

- 1月18日(月)
- 【米国】キング牧師誕生記念日で休場
- 1月19日(火)
- 【香港】失業率(10-12月)
- 1月20日(水)
- 【中国】最優遇貸出金利

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。